

第1回 日本ことば遊び 回文コンテスト入選作品

最優秀賞

| 名前 | 居住地 | 作品 |
|----------------|--------|---|
| いり え 江 こう 光 いち | 東京都板橋区 | よる 夜キスしながら、そのあとあなたを ^み 見つめる ^め 目 「罪 ^{つみ} だなあ」と、あの空 ^{からかな} 悲しすぎるよ |

回文句の部

| 賞 | 名前 | 居住地 | 作品 |
|-----|---------------------|--------|-----------------------------------|
| 優秀賞 | すず き かず ひろ 鈴 木 一 宏 | 札幌市東区 | かいすいよく 海水浴 たたいていただく よ 良いスイカ |
| 佳作 | さわ もと だい すけ 沢 本 大 輔 | 埼玉県川越市 | ひ の 陽が伸びた のど かな 角の たび か ひ 旅の歌碑 |
| 佳作 | かま た じゅん こ 鎌 田 純 子 | 仙台市青葉区 | とお せ 遠の瀬か しら ゆりゆ 白百合揺らし かぜ あと 風の音 |

回文歌の部

| 賞 | 名前 | 居住地 | 作品 |
|-----|----------------------|--------|---|
| 優秀賞 | まる やま とも ひろ 丸 山 友 裕 | 新潟県新潟市 | まつ は かな ふか ついおく 松の葉に 悲しみ深し 追憶を いつしか踏みし なかにわ つま 中庭の妻 |
| 佳作 | かげ やま たつ しろう 影 山 達次郎 | 栃木県足利市 | もがくなり と 訪ひゆく妹を いも こ よる か こおも く 焦がる夜 過去思い悔ゆ ひとり泣くかも |
| 佳作 | なか むら せつ こ 中 村 節 子 | 北海道江別市 | てつどう 鉄道よ ゆき ^{さき} 先寂びた いい ^{さと} 里さ いい ^{たび} 旅先さ きゅうよう 休養とって |

回文自由の部

| 賞 | 名前 | 居住地 | 作品 |
|-----|----------------------|---------|--|
| 優秀賞 | くま の よし あき 熊 野 芳 明 | 仙台市泉区 | みな はい ゆ さくなみ はる おんせげんせつ せんざんせん の みなさまも 皆の入る湯も作並 春の温泉残雪 仙山線に乗るは 皆草萌ゆ る ^{いわ なみ} 岩の波 |
| 佳作 | さ さ き み や 佐々木 美 郁 | 東京都東大和市 | いわ お祝いさ。「この愛 ^{あい} かわるな」と待つて ^ま 信じて ^{しん} 妻 ^{つま} となる ^{わか} 若い あの娘。幸い ^こ を！ |
| 佳作 | こ や の い の すけ 小谷野 猪之助 | 兵庫県姫路市 | くしる とど 釧路より届いたイカでいいお造り仕出し、さらにイカ煮染め ・・・まではいいが女将 ^{おかみ} が癖 ^{ひが} み。顔 ^{かお} がいいはデマ。飯 ^{めし} 、苦い ニラ ^さ 差し出し、理屈 ^{りくつ} を ^い 言い、でかい ^{たいど} 態度とり、「よろしく！」 |

第1回 日本ことば遊び 回文コンテスト入選作品

特別賞

| 名前 | 居住地 | 作品 |
|------------------|--------|--|
| すぎもと ひろし 杉本 寛 | 大阪府枚方市 | <p>かいぶんさい せんたいあんし 回文異才仙代庵師</p> <p>しがん あいたん せんんん へいあんだい わか みの あん 志願、哀嘆、選進...平安時代にひたすら和歌は実る。暗につな がる係りと才気をひく技を重んじるこの時代は、言葉かけ遊び も駆使、中身の濃い中、巧技なり和歌の伝統を引く文化遺産と の由、いずれか名高い、いい歌人が目立つ。</p> <p>えどじだい はいかいし のこ しごと しれう たし あと江戸時代なら俳諧師、残す仕事や資料も確かだし、たくさ ん名も出たが、理屈抜きで果ては通の皆が親愛、断然仙代庵 師か。並の器では出来ぬつくり方でも何作だしたか、自他も嬉 しやと誇示すこの詩歌。威張らない他事と江戸温め、感じが いい。意、形、流れ、随所の頓才感服。日を疎んでの変わりなき 動かないこの身、悲しくも日ぞ明け、がば、床這い出し、残る 芯も大きく灯置き、いざ、とりかかるかなっ！忍あるのみは変 わらず。旅に居た仁愛変人仙代庵が師。仁愛、丹誠、サインV か？</p> |

努力賞

| 名前 | 居住地 | 作品 |
|---------------------|--------|---|
| くり た や ちょう 栗田 弥超 | 宮城県石巻市 | <p>ひだ たき となみ たか み しかわ 襷の滝 戸波の高さ 見しは川</p> <p>ぬ せ くだ は よ なみ どうとう もがみ かわ 抜き瀬を砕き 張り良しと 波も蕩蕩 最上川</p> <p>は そら なが かわ はれの いに 晴れたみ空ぞ 流れ川 晴野みしなか 来つ憩い</p> <p>しらいと たき ね ぶとあめ せ とび ま しぎま 白糸の滝 合歡遠目 瀬の鳶も舞い 鴨も舞う</p> <p>たの はる しぶさけ はなみ 皆は おけさ節 楽しき春は 渋酒を 花見の皆は おけさ節</p> <p>はる きした うま き いま ひとの めおと ぶね 春は岸の田 馬も来し 今も人乗せ 夫婦舟</p> <p>きたの い 苛らし 憩い尽き 悲しみ乗れば わか かな 来たのと苛らし 憩い尽き 悲しみ乗れば わか かな</p> <p>そらし わ み うた みな としよ 空染みたれば 我が身かも 歌うとも皆 年寄り</p> <p>きたく せ わかばし さかた みなと きた たび 帰宅を急ぎぬ 若葉染み 酒田の港 北の旅</p> |